

# 北海道医歌人会詠草

## 氷解く

函館 水関 清

二人してシートを広げる それだけで お祭り騒ぎとなる兄弟  
寐入る兎を抱きていつか眠りけり ソファーは沈む 未来の重さ  
柔らかな君の眠りに入りこみ 夢の岸辺を いっしょに泳ごう  
少しづつ冬の陽吸って 細くなり 糠との出会い待つかし大根  
どこからか梅の香りのひろがりて わが身を包む 公園通り

## 駅伝

士別 竹内 幹夫

背後より重き足音近付きて 軽やかな息去りゆくは風  
あと一歩あと一秒の力尽き 振り絞れども脚に届かず  
追いつきて君の真後ろ風は無し あつぶつかると独り脚逃ぐ  
息尽きて面伏せたる土の味 ライバルの背は無間の闇に  
大地蹴る着地の刹那眉よぎる 右の踵か夢であれかし

## 転禍為福

滝川 村田 英俊

コロナ禍に「とりあえずビール」聞かぬなり 黙食飲み会病室のごと  
祭なく盆も帰れず自肅のみの街の暮しを草木は嗤うや  
金メダルが大ニュースなる日本は 感染者数小さく報じる  
正しさを貫かんとし役を辞しぬ 時を待つため今は負けたとす  
取りやめの横線目につく予定表 酷寒の冬はもうすぐ去るめり

## 除雪

江別 三宅 浩次

雪が降る今朝も音なく雪が降る美しき超え労を残して  
朝早く除雪の車の音響くやれ玄関前の雪除けなければ  
ラッセルの運転手は夜中でも休むことなくご苦労様よ  
雪道を苦労しながら車行く事故なく行けよ今日一日を  
今日の雪重たく感じこの雪は春を告げる雪かも知れぬ

## ヒヒラギ

札幌 浜島 泉

イバラある「蟹ヒヒラギ」と木に書きつ 邪気を払ふの習はしなりし(節分)  
雪硬し砕き広げて陽に晒す ほどなく潤ひ踏むに崩れつ  
新年の運勢欄に「金運」が 年末調整コインが数個  
「銘柄を変へたのかい」と妻に問ふ 飯のみ深く味はひて識る  
回診時「ごはん食べても」「いいですよ」 経管栄養自覚せぬ人

## ホモ・サピエンス

釧路 兎玉 昌彦

核戦争に勝者は無しと言いつつも戦の準備なお怠らず  
抗争の人類史の中でつちかいいし文明という毒を持つ花  
新しき世を作るべき戦いと古き古き時代  
大いなる歴史の流れの中にいて個人は大河の一分子にも似て  
理想という名前のもとに優しくも酷薄にもなるホモ・サピエンス

## 現代オリンピック(3)

北広島 古屋雅三知

何故にオリンピックが特別か? 世界選手権の数ある中で  
掲げたる五輪憲章の故なるや 形骸化した言葉に意味は?  
ベルリンと北京の冬に差やあらむ プロパガンダと独裁の道  
民族抹殺、民主化抑圧 競技者よ 人間の心と矜持をば持て  
貪すればチャイナマネーに眼が眩む Thomas Bachの媚び浅ましき